

## シラバス（後期）

宮崎医療福祉専門学校

授業科目	成人看護学 I			時間数	30
学 科	看護学科	学 年	1	単位数	1
担当講師	岩崎 博子	取得資格	看護師・救急救命士		
		実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有	・ 無	経験年数
授業内容	成人の特徴と多様な健康問題を把握し、健康維持増進の重要性および成人看護の意義と役割を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 成人期の特徴を身体面・精神面・社会面から理解する。</li> <li>2. 成人の健康問題に影響を及ぼす要因と成人期の健康問題を理解する。</li> <li>3. 成人の健康を維持・増進するための保健活動を理解する。</li> <li>4. 労働環境の健康に与える影響を知り労働者に対する保健対策を理解する。</li> </ol>				

## 授業計画

No	授 業 内 容
1	成人の定義、成人の理解
2	成人期の特徴：ライフサイクルからみた成人期の特徴と発達課題
3	成人をとりまく今日の現状：①家族をめぐる状況
4	成人をとりまく今日の現状：②仕事をめぐる状況
5	成人をとりまく今日の現状、③日常生活スタイルの変化
6	成人保健と今日の健康動向①人口構成
7	成人保健と今日の健康動向②平均寿命と健康寿命
8	成人保健と今日の健康動向①疾病の概況（健康状態、受療状況）
9	成人保健と今日の健康動向②疾病の概況（入院期間、死亡の動向と健康問題）
10	保健・医療・福祉政策と今日の健康問題①ヘルスプロモーション
11	保健・医療・福祉政策と今日の健康問題②高齢者政策、がん政策
12	生活習慣に関連する健康障害（生活習慣病）
13	職業に関連する健康障害と対策
14	生活ストレスに関連する健康障害と対策
15	成人期にある人を看護するために関連する理論（ストレス・コーピング、セルフケア）

テキスト 参考書等	NICE 成人看護学 成人看護学概論 南江堂 厚生指針 国民衛生の動向 厚生労働統計協会
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	出席認定 レポート 定期試験

## シラバス（前期）

宮崎医療福祉専門学校

授業科目	成人看護学Ⅱ－1			時間数	30
学 科	看護学科	学 年	2	単位数	1
担当講師	戸高 美智代	取得資格	看護師		
		実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有	・ 無	経験年数
授業内容	1. 呼吸機能障害のある対象の看護 2. 循環機能障害のある対象の看護 3. 体液調節機能障害のある対象の看護 4. 造血機能障害のある対象の看護				
到達目標	1. 呼吸・循環・体液機能が障害された症状・検査治療を理解し。必要な看護の知識を習得する				

## 授業計画

No	授 業 内 容
1	呼吸循環のメカニズム
2	呼吸機能障害の症状に対する看護
3	呼吸機能障害の検査・治療を受ける患者の看護
4	胸腔ドレナージ 人工呼吸管理
5	主な呼吸機能障害の疾患に対する看護
6	呼吸器の手術を受ける患者の看護
7	循環機能障害の症状に対する看護
8	循環器疾患の検査・治療を受ける患者の看護
9	主な循環機能障害の疾患の患者の看護
10	循環器の手術を受ける患者の看護
11	体液調節機能障害の症状に対する看護
12	体液調節機能障害の治療・処置、透析を受ける対象の看護
13	造血機能の振り返り 造血機能障害の症状に対する看護
14	検査・治療(マルク・輸血・化学療法)を受ける対象の看護
15	代表的な造血機能障害の患者の看護

テキスト 参考書等	系統看護学講座 成人看護学2呼吸器 成人看護学3循環器 成人看護学4血液・造血器 成人看護学8腎・泌尿器 臨床外科総論 :医学書院
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	終講試験 レポート 出席認定

## シラバス（前期）

宮崎医療福祉専門学校

授業科目	成人看護学 II - 2			時間数	30
学 科	看護学科	学 年	2	単位数	1
担当講師	岩崎 博子	取得資格	看護師・救急救命士		
		実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経験年数	12年
授業内容	1. 消化・吸収機能障害のある対象の看護 2. 栄養代謝障害・内分泌機能障害のある対象の看護				
到達目標	1. 消化・吸収・栄養代謝機能が障害された対象の症状・検査・治療を理解し、必要な看護の知識を習得する				

## 授業計画

No	授 業 内 容
1	消化器障害の症状に対する看護
2	消化器症状のある対象の検査・処置に対する看護
3	消化器障害の治療に対する看護
4	代表的な消化器機能障害の対象の看護過程
5	代謝障害の症状に対する看護
6	代謝障害の検査・処置に対する看護
7	代謝障害の治療に対する看護
8	代表的な代謝機能障害の疾患患者の看護過程
9	手術を受ける対象の看護
10	内分泌機能の復習
11	内分泌機能障害の症状に対する看護
12	内分泌機能障害の治療に対する看護
13	代表的な内分泌機能障害の対象の看護
14	代表的な内分泌機能障害の対象の看護
15	対象に対する生活指導・健康管理

テキスト 参考書等	系統看護学講座 成人看護学5 消化器 成人看護学6 内分泌・代謝 別巻 臨床外科各論 :医学書院 基礎看護学Vで使用したテキスト・資料
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	終講試験 レポート 出席認定

## シラバス（前期）

宮崎医療福祉専門学校

授業科目	成人看護学Ⅱ-3			時間数	30時間
学 科	看護学科	学 年	2年	単位数	1単位
担当講師	松永麻喜	取得資格	看護師		
		実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	経験年数	19年
授業内容	①意識とは、意識障害、運動機能障害のある患者の看護とアセスメント ②疾患をもつ患者の看護・アセスメント ③演習：麻痺のある患者の移乗 ④運動器疾患患者の援助の知識と技術 ⑤運動器疾患患者の症状、検査・保存療法・手術療法を受ける患者の看護				
到達目標	意識障害、活動機能障害のある対象の主要症状、治療・処置が対象に及ぼす影響を理解し、必要な看護を実践するための知識・技術を習得する。				

## 授業計画

No	授 業 内 容
1	意識とは、意識障害と看護について
2	運動機能障害のある患者の看護、アセスメント
3	運動機能障害のある患者の看護、アセスメント
4	頭蓋内圧亢進症状のある患者の看護
5	くも膜下出血患者の看護
6	くも膜下出血患者のアセスメント、看護活動
7	パーキンソン患者の看護、脳梗塞患者の看護
8	演習（対光反射と麻痺のある患者の車椅子移動）
9	運動器疾患患者の援助のためのおもな知識と技術
10	運動器疾患患者の症状に対する看護
11	症状に関する看護、検査を受ける患者の看護
12	保存療法に対する患者の看護（ギプス・牽引）
13	手術療法を受ける患者の看護（ワークシートでグループワーク）
14	疾患をもつ対象の看護（大腿骨骨折、四肢切断、腰椎ヘルニア）
15	疾患をもつ患者の看護（脊髄損傷、人工股関節全置換術を受ける患者の看護（GW））

テキスト 参考書等	教科書：系統看護学講座 成人看護学⑦ 脳・神経 医学書院 系統看護学講座 成人看護学⑩ 運動器 医学書院
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	出席認定・レポート評価・筆記試験

## シラバス（後期）

宮崎医療福祉専門学校

授業科目	成人看護学Ⅱ-4			時間数	30
学 科	看護学科	学 年	2	単 位 数	1
担当講師	戸高 美智代	取得資格	看護師		
		実務経験	有 ・ 無	経験年数	26
授業内容	①生体防御機能に障害のある対象の看護(アレルギー疾患・膠原病・感染症) ②性・生殖機能障害のある対象の看護(子宮がん・乳がん) ③緩和ケアを受ける対象と家族への看護				
到達目標	①生体防御機能が障害されている原因、障害が対象に及ぼす影響を理解し、看護を実践するための知識・技術を習得する。②性・生殖機能が障害される原因や治療が対象に及ぼす影響を理解し、看護実践するための知識・技術を習得する。③成人期における終末期の特徴や緩和ケアにおける看護師の役割を学び、疼痛の緩和、QOL の保証、悲嘆の看護など人生の終焉を迎える日々を援助するための知識・技術を習得する。				

## 授業計画

No	授 業 内 容
1	免疫のしくみとアレルギー、アレルギー反応の分類、アレルギー疾患
2	アレルギー疾患、症状別、検査を受ける患者の看護
3	アレルギー疾患、治療を受ける疾患をもつ患者の看護
4	膠原病、症状別、検査を受ける患者の看護
5	膠原病、治療を受ける疾患をもつ患者の看護
6	感染症、感染予防、症状に対する看護
7	感染症、検査・治療を受ける患者の看護、疾患に対する看護
8	女性生殖器の構造と機能、女性のライフサイクル
9	子宮がん、症状別、検査・治療を受ける患者の看護
10	卵巣がん、症状別、検査、治療を受ける患者の看護
11	乳がん、症状別、検査・治療を受ける患者の看護、ボディイメージの受容
12	成人期における終末期看護の特徴と全人的苦痛
13	終末期看護と緩和ケア(疼痛の緩和・QOL の保証)
14	悲嘆に対する看護、緩和ケア、終末期患者の家族ケア
15	乳がん患者の終末期の看護(グループワーク)
テキスト 参考書等	教科書:系統看護講座 成人看護論・臨床看護総論・成人看護学⑨女性生殖器・成人看護学⑩アレルギー 膠原病 緩和ケア 医学書院 視聴覚教材
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	出席認定、レポート(グリーフケア・死生観)、筆記試験

## シラバス（後期）

宮崎医療福祉専門学校

授業科目	成人看護学 III			時間数	30
学 科	看護学科	学 年	2	単位数	1
担当講師	岩崎博子	取得資格	看護師・救急救命士		
		実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有	・無	経験年数
授業内容	1. 糖尿病で教育入院した事例の看護 2. 直腸がんで人工肛門を造設する事例の看護				
到達目標	既習の知識を統合して、紙上事例の看護過程を展開することができる。 紙上事例の全体像をとらえ、必要な看護を導き出すことができる				

## 授業計画

No	授 業 内 容
1	糖尿病のメカニズム・症状・合併症
2	糖尿病の検査・治療に対する看護
3	シックデイに対する看護
4	糖尿病の事例の看護過程の展開①情報収集～アセスメント
5	糖尿病の事例の看護過程の展開②関連図と看護上の問題の明確化
6	糖尿病の事例の看護過程の展開③看護計画立案 教育指導パンフレット作成
7	直腸癌のメカニズム・症状・検査・治療
8	人工肛門を造設する対象の看護 ①術前の看護 ストマサイトマーキング
9	人工肛門を造設する対象の看護 ②術後の看護
10	人工肛門を造設する対象の看護(セルフケア)ストーマ装具の取り扱い
11	人工肛門を造設する対象の看護 ③社会復帰と 社会資源 災害時の対処
12	直腸がんの事例の看護過程の展開①情報収集～アセスメント
13	直腸がんの事例の看護過程の展開②関連図と看護上の問題の明確化
14	直腸がんの事例の看護過程野展開③看護計画作成
15	記述試験 レポートの発表

テキスト 参考書等	系統看護学講座 成人看護学5 消化器 成人看護学6 内分泌・代謝 別巻 臨床外科各論 :医学書院 基礎看護学Vで使用したテキスト・資料		
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	終講試験 (60%)	レポート (40%)	出席認定

## シラバス（後期）

宮崎医療福祉専門学校

授業科目	老年看護学 I			時間数	30
学 科	看護学科	学 年	1	単位数	1
担当講師	椎葉さより	取得資格	看護師		
		実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有	・無	経験年数
授業内容	老年看護と他の領域、社会保障制度との関連を理解する。高齢者の身体的、心理社会的特徴と個々の生きてきた生活史、社会状況から高齢者を理解することを学び、高齢者の生き方を理解する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の身体的・心理精神的・社会的特徴が理解できる。</li> <li>2. 加齢変化と疾患や生活機能変化を理解し生活への影響について理解できる。</li> <li>3. 高齢者の生活史を社会変化との関連で理解できる。</li> <li>4. 高齢者の健康づくりについて理解できる。</li> </ol>				

## 授業計画

No	授 業 内 容
1	高齢者の理解①高齢者とは、高齢者の特徴と理解
2	高齢者の理解②高齢者にとっての健康、QOL
3	高齢者の理解③加齢に伴う変化
4	高齢者をとりまく社会①高齢者の生活と家族、生活する場
5	高齢者をとりまく社会②高齢者を支える制度、社会資源、地域包括ケア
6	長期療養施設・在宅の看護（介護保険施設、地域密着サービス、デイケア、在宅）
7	高齢者看護の基本①高齢者看護の特性、処理論
8	高齢者看護の基本①高齢者看護における倫理
9	高齢者看護の基本②高齢者に対するアセスメント
10	高齢者看護の基本③高齢者によくみられる疾患
11	高齢者看護の基本④高齢者看護におけるチームアプローチ、リスクマネジメント
12	高齢者のヘルスプロモーション（健康づくり、生活習慣病予防、認知症予防）
13	生活を支える看護①コミュニケーション、食生活、住まい
14	生活を支える看護②セクシュアリティ、経済状況、社会参加
15	高齢者理解のための演習：高齢者疑似体験

テキスト 参考書等	ナーシンググラフィカ 高齢者の健康と障害 老年看護学① メディカ出版 厚生指針 国民衛生の動向 厚生労働統計協会
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	出席認定 レポート 筆記試験

## シラバス（前期）

宮崎医療福祉専門学校

授業科目	老年看護学Ⅱ－1			時間数	30
学 科	看護学科	学 年	2	単位数	1
担当講師	戸高 美智代	取得資格	看護師		
		実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経験年数	26年
授業内容	加齢に伴う特徴を理解し、健康障害を示す病態、症状や徴候を理解する。また、高齢者のアセスメントと生活機能を整える看護について知識・技術を習得する。				
到達目標	1・加齢にともなう心身機能の変化、老年期に特徴的な疾病や病態を説明できる。 2. 健康障害の状態にある高齢者のアセスメント方法、看護技術を理解する。				

## 授業計画

No	授 業 内 容
1	高齢者の生活を支える看護①食生活を支える看護、食生活の変化に対するアセスメント
2	高齢者の生活を支える看護①摂食嚥下障害アセスメント、食事に対するケア
3	高齢者の生活を支える看護②尿失禁、便秘・下痢がある人のアセスメント
4	高齢者の生活を支える看護②演習：オムツ交換、陰部洗浄
5	高齢者の生活を支える看護③清潔・衣生活に関するアセスメント
6	高齢者の生活を支える看護③痒みに関するアセスメントとケア
7	高齢者の生活を支える看護③感染症予防のアセスメントとケア
8	高齢者の生活を支える看護④活動と休息のアセスメント
9	高齢者の生活を支える看護④視覚、聴覚障害のアセスメントとケア
10	高齢者の生活を支える看護④ADL、歩行、移動のアセスメントとケア
11	高齢者の生活を支える看護⑤生活リズムのアセスメントとケア
12	高齢者の生活を支える看護⑤演習：アクティビティケア
13	高齢者の生活を支える看護⑥コミュニケーションのアセスメントとケア
14	高齢者の生活を支える看護⑦呼吸・循環機能のアセスメントとケア
15	終末期ケア、看取りの看護、家族ケア

テキスト 参考書等	ナーシンググラフィカ 高齢者看護の実践 老年看護学② メディカ出版
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	出席認定 レポート 筆記試験



## シラバス（前期）

宮崎医療福祉専門学校

授業科目	老年看護学Ⅱ－２			時間数	30
学 科	看護学科	学 年	2	単 位 数	1
担当講師	來島理栄	取得資格	看護師		
		実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経験年数	21年
授業内容	加齢に伴う特徴を理解し、健康障害を示す病態、症状や徴候を理解する。また、高齢者のアセスメントと生活機能を整える看護について知識・技術を習得する。				
到達目標	1. 高齢者に起こりやすい症候や問題とその治療・看護について知識を習得する。 2. 加齢に伴う身体的・精神的問題によって、日常生活に障害をきたした高齢者の看護について知識・技術を習得する。				

## 授業計画

No	授 業 内 容
1	高齢者の生活を支える看護①食生活を支える看護②排泄を支える看護
2	高齢者の生活を支える看護③清潔・衣生活を支える看護
3	高齢者の生活を支える看護④活動と休息を支える看護
4	高齢者の生活を支える看護⑤歩行・移動を支える看護
5	高齢者の生活を支える看護⑥呼吸・循環機能を支える看護
6	その他高齢者に特徴的な症状・疾患を支える看護
7	演習：症例から高齢者の健康問題を改善するための看護計画を立案する
8	認知機能障害のある高齢者のアセスメントと看護
9	治療を受ける高齢者の看護①認知症の理解
10	治療を受ける高齢者の看護②せん妄・うつ病の理解
11	治療を受ける高齢者の看護③薬物療法④診断・検査⑤家族への看護
12	終末期の看護①終末期看護の理解
13	終末期の看護②認知症高齢者の終末期ケア
14	終末期の看護③看取りを終えた家族・スタッフへの看護
15	演習：症例から高齢者の健康問題を改善するための看護計画を立案する

テキスト 参考書等	ナーシンググラフィカ 高齢者看護の実践 老年看護学①② メディカ出版
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	出席認定 レポート 筆記試験

## シラバス（後期）

宮崎医療福祉専門学校

授業科目	老年看護学Ⅲ			時間数	15
学 科	看護学科	学 年	2	単位数	1
担当講師	椎葉さより	取得資格	看護師		
		実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有	・ 無	経験年数
授業内容	加齢に伴う特徴を理解し、健康障害を示す病態、症状や徴候、経過、治療法学び、外科的治療を受ける高齢者の看護過程を展開することができる。				
到達目標	1・外科的治療を受ける高齢者の特徴が理解できる。 2. 事例に基づき看護過程が展開できる。				

## 授業計画

No	授 業 内 容
1	手術を受ける高齢者の特徴①加齢と手術侵襲、麻酔侵襲
2	手術を受ける高齢者の特徴②高齢者に起こりやすい術後合併症
3	手術前・手術後のアセスメントのポイントと看護
4	事例を用いた看護展開①演習：大腿骨近位部骨折の人工関節置換術後、アセスメント
5	事例を用いた看護展開②演習：大腿骨近位部骨折の人工関節置換術後、分析・解釈
6	事例を用いた看護展開③演習：大腿骨近位部骨折の人工関節置換術後、看護上問題
7	事例を用いた看護展開④演習：大腿骨近位部骨折の人工関節置換術後、看護計画
8	試験、まとめ
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

テキスト 参考書等	ナーシンググラフィカ 高齢者看護の実践 老年看護学② メディカ出版
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	出席認定 レポート(30点) 筆記試験(70点)

## シラバス（後期）

宮崎医療福祉専門学校

授業科目	小児看護学 I	時間数	30
学 科	看護学科	学 年	1
担当講師	平野 靖子	取得資格	看護師
		実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 経験年数 13
授業内容	・小児看護の対象理解 ・小児看護の役割 ・小児保健 ・子どもの成長発達 ・子どもの栄養 ・子どもと家族 ・子どもと家族を取り巻く社会 ・小児各期の特徴(新生児期・乳児期・幼児期・学童期・思春期)		
到達目標	小児看護の対象を理解する。 小児看護の役割を理解する。 小児を取り巻く社会と小児保健の動向、諸問題を理解する。		

## 授業計画

No	授 業 内 容
1	小児看護の対象理解 小児看護における倫理
2	小児看護の役割 小児看護の変遷 小児看護の課題
3	小児保健 小児と家族の諸統計
4	子どもの成長・発達(成長・発達とは 成長・発達の進み方 成長・発達に影響する因子)
5	子どもの成長・発達(成長の評価 発達の評価)
6	子どもの栄養(子どもにとっての栄養の意義 発達段階別の子どもの栄養の特徴と看護)
7	子どもの栄養(演習:離乳食体験)
8	小児各期の特徴(新生児:形態的・身体生理の特徴、各機能の発達、新生児の養育と看護)
9	小児各期の特徴(乳児:形態的・身体生理の特徴、各機能の発達、乳児の養育と看護)
10	小児各期の特徴(幼児:形態的・身体生理の特徴、各機能の発達、幼児の養育と看護)
11	小児各期の特徴(学童:形態的・身体生理の特徴、各機能の発達、学童の養育と看護)
12	小児各期の特徴(思春期:形態的・身体生理の特徴、各機能の発達、思春期の看護)
13	家族の特徴とアセスメント(子どもにとっての家族とは)
14	子どもと家族を取り巻く社会(演習:事例を用いた施策についてグループワークとまとめ発表)
15	子どもと家族を取り巻く社会(演習:新聞記事を用いたグループワークとまとめ発表)

テキスト 参考書等	系統看護学講座専門分野Ⅱ小児看護学概論小児臨床看護総論(医学書院) 国民衛生の動向、小児看護学 筒井真優美(日総研)、新聞記事、
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	出席状況、課題レポート、筆記試験

## シラバス（後期）

宮崎医療福祉専門学校

授業科目	小児看護学Ⅲ			時間数	30
学 科	看護学科	学 年	2	単位数	1
担当講師	平野 靖子	取得資格	看護師		
		実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有	・ 無	経験年数
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児看護における看護過程</li> <li>・小児看護における事例の看護過程（気管支喘息、ネフローゼ症候群）</li> <li>・看護過程関連技術の演習の実際</li> </ul>				
到達目標	健康障害をもった子どもと家族の健康問題をアセスメントし、疾病の回復、健康の保持増進、成長・発達を促すための援助がわかる。				

## 授業計画

No	授 業 内 容
1	小児看護における看護過程
2	子どもの成長・発達、気管支喘息の基礎知識、各自の自己学習のまとめを活用
3	事例展開：気管支喘息（幼児期）情報の整理・分析：発達段階、疾患と病態生理
4	事例展開：気管支喘息（幼児期）情報の整理・分析：健康の段階、子どもと家族への指導
5	事例展開：気管支喘息（幼児期）情報の整理・分析、問題点統合、事例の関連図
6	事例展開：気管支喘息（幼児期）看護計画
7	事例展開：気管支喘息（幼児期）看護計画、各自が作成した退院指導パンフレット発表
8	事例展開：ネフローゼ症候群、基礎知識、各自の自己学習のまとめを活用
9	事例展開：ネフローゼ症候群、情報の整理・分析：発達段階、疾患と病態生理
10	事例展開：ネフローゼ症候群、情報の整理・分析：健康の段階、子どもと家族への指導
11	事例展開：ネフローゼ症候群、情報の整理・分析、問題点統合、事例の関連図
12	事例展開：ネフローゼ症候群、看護計画
13	事例展開：ネフローゼ症候群、指導のパンフレット作成・発表
14	看護過程関連技術の演習：事例を用いたバイタルサイン測定、清拭・陰部洗浄
15	看護過程関連技術の演習：事例を用いたおむつ交換、寝衣交換

テキスト 参考書等	系統看護学講座専門分野Ⅱ小児看護学概論小児臨床看護総論小児看護学① 系統看護学講座専門分野Ⅱ小児臨床看護各論②(医学書院) 写真で見る小児の看護技術、小児看護学 筒井真優美(日総研)
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	出席認定、課題レポート、パンフレット、筆記試験

## シラバス（前期）

宮崎医療福祉専門学校

授業科目	母性看護学 I			時間数	30
学 科	看護学科	学 年	1	単位数	1
担当講師	藤澤豊子	取得資格	看護師		
		実務経験	有・無	経験年数	12
授業内容	母性看護の概念及び人間の性と生殖について理解する。				
到達目標	1. 母性看護学の主要な概念・理論を理解し、そして、母子の現代の社会状況をとれることができる。 2. 性の概念と性と生殖の機能とメカニズムについて理解できる。 3. 女性のライフサイクル各期に必要な看護について理解できる。				

## 授業計画

No	授 業 内 容
1	母性・父性、母性看護の概念 ディプロダクティブ・ヘルス/ライツ
2	家族の発達・機能
3	母子保健の統計指標 子育て支援施策 母性保護の関係法規
4	女性の就労の関係法規 外国人妊産婦と家族への支援 災害時の妊産婦と家族への支援
5	対象の権利と擁護 自己決定・プライバシーの尊重
6	人間の性と生殖や医療における倫理
7	性的健康の概念 セックス・ジェンダー・セクシュアリティ
8	ヒトの発生・性的分化のメカニズム 性周期
9	性行動・性反応 受胎のメカニズム
10	思春期女性の健康課題と看護
11	成熟期女性の健康問題と看護
12	更年期女性の健康課題と看護
13	老年期女性の健康問題と看護
14	演習 ライフサイクルにおける保健指導の実際 I
15	演習 ライフサイクルにおける保健指導の実際 II

テキスト 参考書等	・系統看護学 母性看護学 I 医学書院 ・オープンセサミシリーズ看護学3 東京アカデミー編
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	出席 筆記試験

## シラバス（前）

宮崎医療福祉専門学校

授業科目	精神看護学Ⅱ			時間数	30
学 科	看護学科	学 年	2	単 位 数	1
担当講師	藤澤豊子	取得資格	看護師		
		実務経験	有・無	経験年数	12
授業内容	精神の健康な発達とそれに影響を与える要因を学び、現代社会に生きる人々の精神の健康を保持・増進するための必要な知識を理解する。また、これらの知識を基に自己の精神保健について考える。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神の健康及び精神の健康を支える要因を理解する。</li> <li>2. 精神障害をもつ人々や家族を当事者の持つ力あるいはレジリエンスといったポジティブな可能性に注目して援助することが理解できる。</li> <li>3. 現代社会における精神保健問題及びその対策の方向性を知る。</li> </ol>				

## 授業計画

No	授 業 内 容
1	精神機能と精神的健康の捉え方
2	成長と精神の発達(エリクソン ボウルヴィ)
3	成長と精神の発達(マズロー ピアジェ)
4	家族と精神の健康
5	学校と精神の健康
6	職場・仕事と精神の健康
7	地域における生活と精神の健康
8	危機とは ストレスとコーピング
9	適応と不適応 セルフマネジメント
10	社会構造の変化と社会病理 DV PTSD
11	ひきこもり ハラスメント 自殺
12	不登校 いじめ 不登校 自傷行為 虐待
13	依存症 性同一性障害
14	身体疾患と看護 先端医療と看護
15	リエゾン精神看護

テキスト 参考書等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新体系看護学全書 精神看護学①、精神看護学② メヂカルフレンド社</li> <li>・オープンセサミシリーズ看護学3 東京アカデミー編</li> </ul>
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	出席 筆記試験

## シラバス（前）

宮崎医療福祉専門学校

授業科目	精神看護学Ⅳ			時間数	15
学 科	看護学科	学 年	3	単位数	1
担当講師	松永 麻喜	取得資格	看護師		
		実務経験	有・無	経験年数	19
授業内容	精神障害のある対象及びその家族に対して、看護過程を展開するために必要な基礎的な技術を習得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 統合失調症患者の経過別看護を理解する。</li> <li>2. 慢性統合失調症患者の看護過程が展開できる。</li> <li>3. 患者-学生関係を構築する技術を身につける。</li> </ol>				

## 授業計画

No	授 業 内 容
1	統合失調症患者の経過別看護
2	薬物療法、リハビリテーション療法における看護
3	精神看護における看護過程ガイド
4	演習 事例展開「統合失調症患者の情報分析、看護上の問題の抽出」
5	演習 事例展開「統合失調症患者の看護計画立案」
6	看護理論 ペプロウの「看護における人間関係」
7	演習 ロールプレイ「事例：抑うつ状態の患者」
8	患者-学生間でおこりうる問題とその解決
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

テキスト 参考書等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新体系看護学全書 精神看護学①、精神看護学② メヂカルフレンド社</li> <li>・はじめてのヘンダーソンモデルにもとづく精神科看護過程 医歯薬出版</li> <li>・オープンセサミシリーズ看護学3 東京アカデミー編</li> </ul>
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	出席 レポート 筆記試験